

アレルギー疾患の現状は

相原 孝彦議員

問 村内の園児、児童、生徒のアレルギー疾患の状況は。

答 村内の保育所の園児は、複数のアレルギー疾患を持つ園児も含め、24年6月現在で延べ177人おります。アナフィラキシーを起こすおそれのある園児は1人おり、主治医の注意を、保護者と保育所で二重のチェックをしています。

問 児童生徒は、24年5月現在で、小学校129人、中学校48人の計177人です。アナフィラキシーを起こすおそれのある児童生徒は、小学校に17人おり、内訳は、1年3人、2年3人、3年5人、4年3人、5年2

人、6年1人で、男子13人、女子4人です。また、中学校には該当生徒はいません。

アレルギーに対する空調環境は

問 園内、校内、給食センターの空調環境は。

答 空気清浄機は、全保育所に設置済みですが、小中学校には設置していません。

村内の私立幼稚園4園のうち設置済みは2園で、1園は全室設置、1園は、「0歳児保育」の部屋に設置されています。

学校給食センターは調理作業場の窓等を閉め切り、室内循環の空調を稼働しています。

薬物乱用への対策は

問 薬物乱用への教育委員会の取組みは。

答 小学校は、5年生以上の体育の授業で「薬物乱用の害」について、中学校では、保健体育の授業で、覚醒剤や大麻の摂取により急性の錯乱状態や急死を引き起こすこと、依存性が強く、精神や身体に苦痛を感じるなどの障害が起きること、暴力、犯罪など家庭・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこと等を指導しています。

アナフィラキシーアレルギー反応により、蕁麻疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、息苦しさなどの呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現する状態。

市制施行の知名度向上の施策は

柳村 一議員

滝沢ブランドを全国的に発信

問 市制施行の機運の盛り上がりや認知度を今以上に発展させるために、村内外に向けた知名度向上の施策を行う考えを伺います。

契機とした住民自治のまちとしても「滝沢ブランド」を全国に発信し、知名度を上げる必要があります。

滝沢独自の特色のある教育施策

問 市制施行に向けた取り組みが、今後さまざまな行われると思われまます。教育の分野でも「市」になったとき、滝沢で子どもへの教育を受けさせたいと思わせる施策が必要ですか。

現在、このメリットを生かし「ジョイントアップ・スクール事業」を推進しており、23年度に滝沢第二中学校区内3校、今年度は、一本木中学校と一本木小学校を指定し、教科連携の実践的研究を行っています。

答 本村のめざす市制移行は、単に市制移行を果たすことが目的ではなく、住民による主体的な地域づくりのもと住民自治を深め、それを支えるための手段として、自立した自治体経営を行うために、団体自治の充実となる市制移行をめざしています。

また、滝沢に住み続けてもらうため、新たに選び住んでももらうために活気あるまちであり続け、市制移行を



そこで次の二点について伺います。

- ① 滝沢村農産物のブランド化について。
- ② 滝沢村農業賞の創設について。

答 ① 振興作物としてスイカ、クイックスイート、りんごのはるかななどの生産に取り組んでいます。特にクイックスイートは、苗の購入費の補助をしています。

村内農産物の生産拡大やブランド化は、6次産業化の推進にも貢献するものと期待しています。また、花卉プロジェクトも4年目を迎え、花のブランド化にも取り組んでいます。

② 本村では、農林業に関する表彰制度は設けていませんが、国、県レベルでは多くの表彰制度が設けられています。

滝沢産米の輸出の支援策は

しののめ会 武田 哲議員

問 JA新岩手農協で今年度、滝沢産米が、新規需要米として輸出されます。そこで次の二点について伺います。

- ① 輸出に向けた取り組みと支援策について。
- ② 輸出に絡めた観光、企業振興策について。

答 ① 輸出米の申し込み受付時に取引価格が決定していません。そのため、輸出米の申し込みは30日程でした。

輸出米は、戸別所得制度でも、新規需要米に位置づけられ、転作物にもなっています。加工用米と同等の農家手取り額を目安に、農

協中央会と協議し支援します。

② 今回の輸出が契機となり、様々な分野へ発展していく可能性も考えられます。食味のよさを海外の方に知っていただき、様々な形で本村と岩手の発展に繋がっていくように関係機関と連携をとりながら、機会をとらえ対応していきます。



問 農家の人々に、さらにやる気を出してもらうために、更なる農業振興策の向上が必要と思われまます。

議会にズバリ一言!

傍聴に来ていただいた岩手県立大学生の皆さんからお寄せいただいた感想をご紹介します

1 大変整然とした議事運営で良かったと思います。教育委員会の役割と方向性について、もう少し明確にしていただければ良いかなと思いました。(英語、ダンスの導入や学力向上の問題など)
「滝沢らしい教育」という点は、良い御指摘と思いました。

2 滝沢の市制について、これからどうしていくべきかの議論を聞いて良かった。もっと退屈かと思っていたけど違ったので、議会のイメージが少し変わりました。

3 議会の傍聴は初めてだったので、良い経験をしたと思います。議会を傍聴して感じる事は、若い議員は少ない、質疑応答の前の報告が、事務的(文書を読む)で終始視線を落とすままはどうか。
質疑応答で担当者のみが答えるのは分りやすい所もあるが、村長自身の考えや、他の議員の方の考えを聞けたりしたらよいのではないかと思います。